

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



茅葺き民家の魅力を後世に伝える 茅葺き研究拠点がオープン & 個展「茅の中」開催

5月11日、八郷の小屋地区にある茅葺き民家が筑波大学の研究拠点としてオープンしました。オープニングイベントでは座談会が催され、関係者が茅葺き民家の魅力について語り合いました。

また、この施設では5月28日から6月5日まで、石岡市地域おこし協力隊の牧田沙弥香さんが主催する個展「茅の中」が開催され、複数の作品が展示されました。訪れた人々は、茅が生み出す幻想的な光と陰影の芸術を熱心に見学していました。



▲①茅葺き研究拠点の内部、②オープニングイベント時の座談会の様子、③「茅の中」の展示作品、④牧田さんの説明を聞く訪れた人々



▲クラブ員は市内の小学3～6年生が対象。令和4年度は28人の児童が参加しています。活動初日は勾玉づくりを行いました。

あんなこと、こんなことを形に 第35期石岡少年少女 発明クラブの活動が開始

5月14日、旧城南中学校の技術室で「石岡少年少女発明クラブ」の発会式が行われました。今年で35年目を迎えるこのクラブでは、現職の先生やOBなどが中心で指導・運営を行っており、モノづくりを通して子どもたちの創造性や観察力を養っています。

昨年の県発明工夫展では、園部中学校が学校賞を受賞、その前年には小桜小の児童が知事賞を受賞するなど、素敵なアイデアで発明をする石岡の子どもたち。今年も創意工夫された作品が楽しみです。

まちの安全・安心を支える 市消防隊員による訓練査閲が 3年ぶりに開催

5月26日、石岡消防署柏原分署内の訓練所で、令和4年度消防総合訓練査閲が開催されました。ロープブリッジ救助や引揚救助、ビル火災を想定した総合訓練が行われ、日々の訓練によって鍛えられた強靱な体力や救助技術、統率のとれたチームワークが披露されました。

谷島市長は日頃の活動をねぎらうと共に「各種災害に対応する消防隊員の皆さんは、市民にとって最後の砦」と激励の思いを話しました。



▲要救助者を7m下から引き上げる引揚救助訓練や、各隊が連携して消火・救助を行うビル火災を想定した総合訓練の様子



▲開催日当日は晴天に恵まれ、家族連れなど、多くの来場者がイベントを楽しむ様子が見受けられました。

約2年の時を経て

いしおかイベント広場にて 第38回いしおか商工祭開催

5月29日に第38回いしおか商工祭が開催され、多くの人で賑わいました。当日は飲食・販売・展示ブースの出店のほか、ステージイベントや市指定文化財「常陸國總社宮例祭の獅子・山車・ささら行事」のPRとして、山車や幌獅子が実際に並び、イベント会場を盛り上げました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会場入り口では検温とアルコール消毒が行われ、来場者も安心してイベントを楽しむことができました。

各世代の世界一を決める舞台へ

国府中 ^{あわのたいせい} 栗野泰成さん 世界ジュニアゴルフ選手権出場

毎年7月中旬にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催される世界ジュニアゴルフ選手権。国内外で活躍するプロゴルファーも出場した、未来へ羽ばたく第一歩とも言える大会です。

国府中学校3年の栗野泰成さんは、4月中旬に行われた東日本決勝大会の13～14歳男子の部で準優勝の成績を収め、日本代表として出場します。大会に向けて「自分の飛距離を生かして攻めていって、スコアを伸ばしていければ」と意気込みを話しました。



▲5歳から父の影響でゴルフを始めた栗野泰成さん。得意のドライバーは270～300ヤードの飛距離があります。



▲署名の協力を呼びかけるTX石岡延伸推進協議会会長の谷島市長はじめ協議会の皆さん

市内経由の茨城空港延伸を目指して つくばエクスプレス延伸推進 決起集会・署名活動を実施

6月5日、ふれあいの里石岡ひまわりの館で、TX石岡延伸推進協議会による決起集会が行われました。会長である谷島市長は「石岡市の長を最大限生かし、茨城県の発展、県民の幸せの実現に向けて大きく貢献できることをアピールしていかなければならない」と話しました。その後、市内商業施設で署名活動を実施。多くの人にご協力いただきました。署名はこちらからも行うことができます▶

